

総括質問

本市議会では議案への質疑と、市政などを問う一般質問を合わせて行い、それを「総括質問」としています。今定例会では、14人の議員が総括質問を行いました。質問者の文責により質問と答弁の要旨を紹介します。★詳しい質問内容は、会議録をご覧ください。

清風クラブ



市制施行100周年を
展望したまちづくり

野崎 審也 議員

令和8年度 予算編成方針

問 令和8年度の財政見通しについて伺う。

市長 ツインシティ大神地区の整備や、企業の本社移転に向けた取り組みの成果により、市税の増収が期待できる一方、歳出面では、物価高騰に伴う物件費など経常経費の増大や社会保障関係費、老朽化が進む公共施設の維持補修費などの増加に加え、社会の変化に対応した行政需要などが想定されることから、依然として厳しい財政状況が続くものと見込んでいます。

問 7年度は16年ぶりに地方交付税の不交付団体となり、8年度も不交付団体となる予測だが、企業への投資や、地域経済の活性化などについて見解を伺う。

企画政策部長 約15年かけて、健全な状況になってきた。本市がより選ばれ、住んでもらえるように努力していきたいと考えている。

みんなで行こう ひらつかシテラス

問 来園者数の状況や利用者の声を伺う。

都市整備部長 開園約1か月の来園者数は約11万人で、想定を大きく上回り、「海を見ながら散歩できることがうれしい」などの声がある。コンセプトである「海辺のある暮らし」の実現につながっていると実感している。

問 海岸地域にある市営住宅の空いている駐車場を貸し出すことは可能か伺う。

都市整備部長 市営住宅の駐車場の利用状況から、更なる利活用の可能性はあると考えている。

神奈川大学湘南 ひらつかキャンパス 跡地 利活用

問 令和6年5月に神奈川県川崎競馬組合が優先交渉権事業者に決定し、これまで県や市、地域と何度も協議を重ねてきた。移転断念の申し入れは大変やるせない気持ちだが、市長の思いを伺う。

市長 長年にわたり県や市、地域と進めてきたことに対する今回の対応は大変遺憾である。今後のまちづくりについても地域に寄り添い、平塚市都市マスタープランに定めている、2核1地域の一つとしてしっかりと進めていきたい。

認知症対策

問 家族や社会全体で認知症の進行を遅らせるための対策について伺う。

市長 本人や周囲が早期に症状に気付くことが大切である。認知症になっても家族や周囲の関わり方で、進行を緩やかにすることができ。本市では早期発見、早期判断、早期対応を目指し、専門医と医療、介護、福祉の専門職がチームで支援する認知症初期集中支援事業を実施していく。



「夢ある未来」平塚を創る

片倉 章博 議員

平塚駅周辺地区 将来構想

問 将来構想のまちづくりのコンセプトである「平塚駅周辺地区をみんなのリビングに！」の実現に向けた整備のための社会実験を実施したが、内容を伺う。

副市長 湘南スターモールでの社会実験は、道路の整備に向け、滞留・交流空間の必要性を検証することを目的に、大型ベンチであるパークレットを歩道へ設置するとともに、路上の駐車区域でのキッチンカーの営業や、空き店舗を活用したチャレンジショップの新店を実施した。その結果、地区内でのイベント開催日には153人がパークレットを整えている。

副市長 道路や公園での社会実験で得られた検証結果と、商店主など多くの協力やさまざまな人からの多様な意見を取り入れ、地域とのワークショップに活用しながら魅力ある駅周辺地区の整備につなげていく。整備にあたっては、国の交付金を活用するため、今後5年間で実施する事業を取りまとめる都市再生整備計画の作成に向け、現在国と調整を図っている。

● 委員会の活動 ● 行政視察の報告

議会では他自治体の先進事例を研究するため、行政視察を実施しています。9月定例会で承認を得た次の委員会が、閉会中に行政視察を行いました。

議会運営委員会 (11月6日～11月7日)

- 滋賀県彦根市…議会改革の取組について
- 京都府福知山市…議会BCP（業務継続計画）について

都市建設常任委員会 (11月10日～11月11日)

- 長崎県長崎市…長崎駅周辺再整備事業及び長崎スタジアムシティについて
- 長崎県諫早市…諫早駅周辺整備事業について

環境厚生常任委員会 (10月23日～10月24日)

- 愛知県豊明市…健康増進のための乗り合い送迎サービス「チョイソコとよあけ」について
- 大阪府豊中市…「小1の壁」対策について

※詳しい視察内容を記載した報告書は、市庁舎8階の議会図書室や5階の市政情報コーナーでご覧いただけます。

問 紅谷町駐車場エリアと立体駐車場の劣化度状況調査を行ったと報告があったが、結果について伺う。

企画政策部長 経年劣化や雨水の侵入による損傷が生じており、今後も長期にわたり使用する場合には、大規模な修繕が必要だと報告があった。

問 大規模改修をした場合の費用を伺う。

企画政策部長 大規模改修を行った場合には、12億円以上の金額が掛かると報告があった。ただし、この数字は昨今の人件費や物価高騰は見込んでいないものとなっている。

問 4つのフラッグシッププロジェクトには、紅谷町まちかど広場も含まれている。紅谷町まちかど広場の位置付けを伺う。

駅周辺地区整備担当部長

平塚駅周辺地区将来構想では、駅周辺のランドデザインを示しているが、平塚駅西口や紅谷町駐車場、紅谷町まちかど広場は、交流やにぎわいの中心となる都市機能を誘導するポイントとして位置付けられている。これまでの使い方以外にも、どのような活用ができるかは、今後検討していきたいと考えている。

社会教育施設の今後

図書館

問 11月に開催された定例行政報告会で、中央図書館の分館について報告があった。中央図書館は、改修工事（令和8年6月末から10年2月）により建物の長寿命化を図り、現在の中央図書館の機能を分割し、ラス

カ平塚6階の文化教室跡地に中央図書館分館を設置するが、内容の詳細を伺う。教育長 中央図書館分館は8年12月から、ラスカ平塚の6階に約338平方メートルの広さで開設を予定している。開設時間については、平日が午前10時から午後8時まで、土日・祝日が午前10時から午後6時までを考えている。賃貸借料金については、現在の「ひらつか駅の図書室」の約1.8倍の広さになること、また改修により内装をリニューアルすることなどから、現在より増額となる見込みである。中央図書館分館で使用する木製の書架や展示棚、閲覧用のテーブル、椅子などの什器類を購入する費用は、補正予算での対応を考えている。